

借受者のニーズに対応した事例(レポート需要)

H28

【地区名】 富田林市楠風台地区(農と福祉との連携)

【地区の特徴・取組のポイント】

- 住宅街に囲まれた農地
- 参入者は特例子会社として平成24年度から農業に参入(0.5ha)
- 規模拡大の意向を受け、隣接農地を順次貸し付け。
平成27年度 0.4ha、平成28年度 0.2ha

【取り組みによる成果】

栽培しやすく、市場ニーズや付加価値の高い野菜の生産に意欲的に取り組んでいる。



営農状況



営農状況

重点地区での取り組み事例

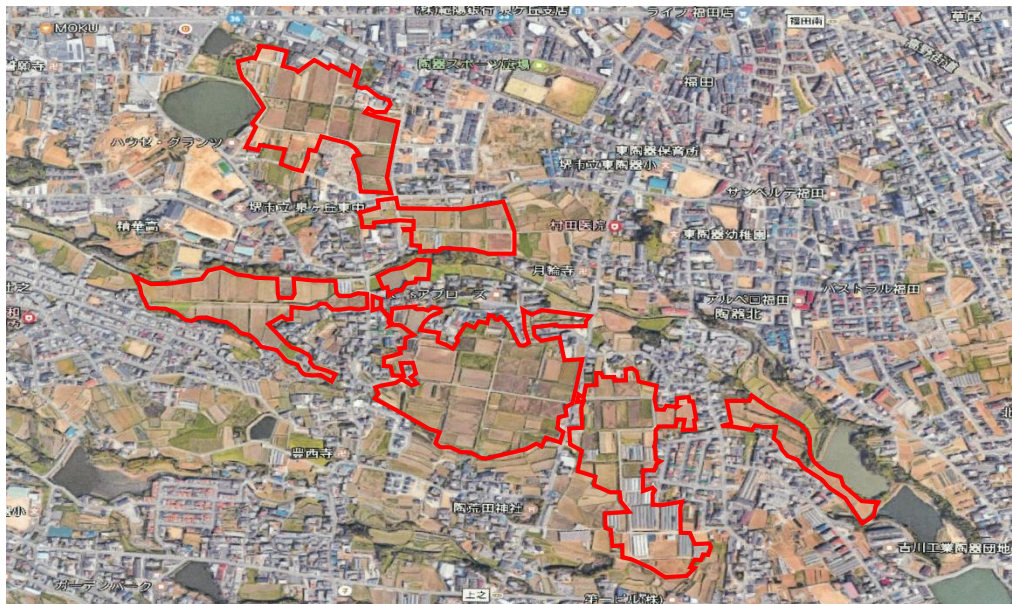
【地区名】 堺市中区陶器北地区(担い手への集積)

【地区の特徴・取組のポイント】

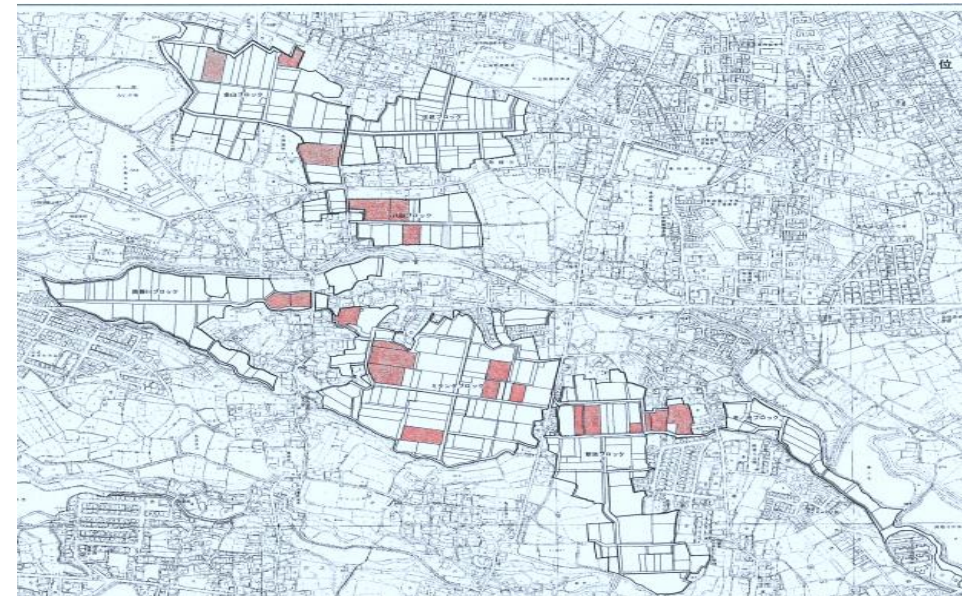
- 市街地に近接し、優良農地が広がっている。
- ほ場整備済み農地 26.6ha
- 府と連携し、土地改良区へ働きかけを強化し、理事長及び役員から積極的な協力を得る。
- 集落での話し合いが進み、今後は人・農地プランの作成を視野に入れ検討。

【取り組みによる成果】

担い手3名へ3.5haを集積。
地域内で取り組みが広まり、さらなる集積・集約化への発展が期待される。



市街地と近接した農地



3名に集積した農地の分布状況

重点地区での取り組み事例

【地区名】 田尻町吉見地区(企業参入・集積・集約化)

【地区の特徴・取組のポイント】

- 地域の担い手の高齢化で遊休化が懸念される農地が増大。
- 町の積極的な働きかけにより、複数の地権者の同意を得て、0.9haのまとまった農地を企業に貸し付けた。

【取り組みによる成果】

地権者の了解を得て、畦畔を除去し、耕作条件を改善。本地区は地籍調査が完了しており、境界の復元が可能。

集積・集約化による農地の高度利用化を図り、ハウス約20棟による軟弱野菜を栽培。



駅から徒歩圏内のまとまった農地



ハウス内のサラノバレタス